

教育実習に関する学生の意識

—予備調査結果集計報告—

教育実習意識調査小委員会

担当：青 木 稔 (55、56年度)
生 田 孝 至 (“)
西 潟 惇 (55年度)
斎 藤 勉 (55、56年度)
高 木 靖 文 (55年度)
竹 下 由紀子 (委員長、55、56年度)
吉 川 弘 (55、56年度)

I 研究の経過と目的

教育実習調査研究専門委員会は、教育実習改善のための調査研究を目的として、センター設立後に作られた委員会であるが、本委員会は、その中に教育実習意識調査小委員会を設けて、教育実習終了後の学生の、実習にたいする諸意見の調査をおこなうこととし、昭和55年度（昭和56年2月）に予備的なアンケート調査を試みた。

この調査は、実習の改善に先立ち、現状についての正しい認識を得ることが必要であるとする当センター運営委員会からの要請もあっておこなわれたものである。

今回の調査の目的は、以下の2つに大別される。

(1) 実習の時期・期間・実習校・全体のカリキュラムとの関連、その他について、現状を学生がどのように感じているかを、直接質問によって調べたいとする要望が、主に実習の指導を担当している附属学校の委員から出され、それに応えること。

(2) 実習の制度・方法・内容・カリキュラム等に変更を加えた場合、その影響を測定するために、将来にわたって継続的に施行できる評価の道具を開発する必要があるので、そのために有効な質問の項目や様式を探すこと。

本来は、(2)の目的にかなう結果が得られて、信頼性、妥当性のある質問項目ができた上で、(1)の意識調査をおこなうのが順序である。今回のアンケートは、(2)の目的に主眼をおいて実施されたものであるが、専門委員会（56年度は委員長は高山次嘉氏に交替）からの要請もあり、一次的な集計の数値にも言及することとした。

II 方 法

対象 新潟大学教育学部、昭和55年度卒業見込みの学生 475名

「教育実習に関する調査」と題する4頁（12問）からなる質問紙を、昭和56年2月中旬から3月にかけて、指導教官の手を経て4年次学生に配付し、指導教官に回収をも依頼した。（大学の研究室の移転作業が3月末から4月にかけておこなわれたため、回収は5月までにわたったものもあるが、学生の記入は3月中におこなわれた。）

本学部においては、実習を2年次から3年間にわたって履習させているが、4年生はその全てを

終了した卒業の直前に、それらをふり返って回答したことになる。

質問紙はそのひながたを本報告の後尾に附したが、実習の必要性、実習に際しての不安、意識の変容、実習の時期や期間の適・不適、実習中に感じた力量不足の内容や対策、大学への希望、などを問う項目からなっている。

Ⅲ 結 果

各質問に対する回答の分布を以下に示す。

質問1 教師になるために教育実習は必要だと思いますか。

	全 体	小教課程(93)	中教課程(45)	特設課程(19)	無効
a 必要である	155 (98.1 %)	92 (98.9 %)	43 (95.6 %)	19 (100.0 %)	1
b 必要ない	1 (0.6 %)	0 (0 %)	1 (2.2 %)	0 (0 %)	
c わからない	2 (1.3 %)	1 (1.1 %)	1 (2.2 %)	0 (0 %)	
計	158 (100.0 %)	93 (100.0 %)	45 (100.0 %)	19 (100.0 %)	

a 必要である <理 由>

- 現場の様子を知るために必要であるから……………(24)
- 実際に子どもと接することができるから……………(19)
- 教師になることの自覚が高められるから……………(16)
- 大学の講義だけでは実践の役に立たないから……………(15)
- 教師としての自己の適性を考えるため……………(9)
- 実践を通して教育に関する認識が深まるから……………(7)
- 現場に出た時、生徒に迷惑がかかるから……………(6)
- 現場に出た時、戸惑わないようにするため……………(5)
- 大学で学んだ内容を実践の場で試してみれるから……………(5)
- 教師という職業を理解するため……………(4)
- 理論だけでなく、実践も必要であるから……………(4)
- 現場の先生に指導していただけるから……………(3)
- その他……………(20)

b 必要ない <理 由>

- 短期間だけで教えるのには、いろいろなハンディーがあるから……………(1)

c わからない <理 由>

- 2.5週程度で十分な効果があるか疑問だから……………(1)
- 子どもたちに接することは意義があるが、実習によって自分の力量に自信をなくし
教職につくのを断念する人もいるから……………(1)

質問2 3年次教育実習をする前に、教育実習を履習することに不安を感じたか。

	全 体	小 教 課 程	中 教 課 程	特 別 教 科	無 効
a おおいに感じた	39 (24.7 %)	21 (22.6 %)	13 (28.9 %)	5 (26.3 %)	
b 少し感じた	70 (44.3 %)	48 (51.6 %)	18 (40.0 %)	4 (21.1 %)	
c あまり感じなかった	36 (22.8 %)	20 (21.5 %)	11 (24.4 %)	4 (21.1 %)	1
d 全く感じなかった	7 (4.4 %)	4 (4.3 %)	2 (4.5 %)	1 (5.2 %)	
e わからない	1 (0.6 %)	0 (0 %)	1 (2.2 %)	0 (0 %)	
無 解 答	5 (3.2 %)	0 (0 %)	0 (0 %)	5 (26.3 %)	
計	158 (100.0 %)	93 (100.0 %)	45 (100.0 %)	19 (100.0 %)	

a おおいに感じた <理 由>

- 児童とうまく接することができるか不安だった……………(8)
- 教材研究及び専門科目の履習がまだ途中であるため、教科の専門知識が充分身につけていない……………(8)
- 初めての経験だから……………(7)
- 自分に授業がやれる自信がなかったから……………(6)
- 2年次の実習でうまくいかなかったから……………(6)
- 授業の担当時間が2年次よりも大幅に増えるから……………(4)

質問3 教育実習を終了したことによって、教職意識が強まったか。

	全 体	小 教 課 程	中 教 課 程	特 別 教 科	無 効
a おおいに強まった	70 (44.4 %)	43 (46.2 %)	18 (40.0 %)	9 (47.5 %)	
b やや強まった	52 (32.9 %)	33 (35.5 %)	12 (26.7 %)	6 (31.5 %)	1
c かわらない	27 (17.1 %)	12 (12.9 %)	13 (28.9 %)	2 (10.5 %)	
d やや弱まった	4 (2.5 %)	4 (4.3 %)	0 (0 %)	0 (0 %)	
e 非常に弱まった	4 (2.5 %)	1 (1.1 %)	1 (2.2 %)	2 (10.5 %)	
無 解 答	1 (0.6 %)	0 (0 %)	1 (2.2 %)	0 (0 %)	
計	158 (100.0 %)	93 (100.0 %)	45 (100.0 %)	19 (100.0 %)	

a おおいに強まった <理 由>

- やりがいのある職業……………(20)
- 実際の教育にふれてみて、勉強のたりなさを感じ意欲をもやす……………(14)

- 教師の仕事の難しさ……………(11)
- 教育の現場に実際にふれてみて、子供の実態を知ることができた……………(8)
- 教職のすばらしさ……………(7)
- 教師の責任の重さ……………(4)
- 実践力が育成できた……………(1)
- その他……………(2)

b やや強まった <理由>

- やりがいのある職業……………(15)
- 実際の児童に接することができたため……………(9)
- 教育に対する魅力……………(5)
- 自分の力量のなさを痛感した……………(5)
- 実際の現場の実態にふれることができた……………(5)
- 現場での体験を通して、問題意識をはっきりさせることができた……………(4)
- 人間としてのむき方を見直させられた……………(1)

質問4 現在、教育学部では主免の実習を春に行っていますが、あなたはこの時期を適当だと思いますか。

	全 体	小 教 課 程	中 教 課 程	特 別 教 科	無 効
a 適当と思う	63 (40.0 %)	36 (38.7 %)	14 (31.1 %)	12 (63.2 %)	1
b 適当と思わない	47 (29.7 %)	29 (31.2 %)	14 (31.1 %)	4 (21.1 %)	
c わからない	47 (29.7 %)	27 (29.0 %)	17 (37.8 %)	3 (15.7 %)	
無 解 答	1 (0.6 %)	1 (1.1 %)	0 (0 %)	0 (0 %)	
計	158 (100.0 %)	93 (100.0 %)	45 (100.0 %)	19 (100.0 %)	

a 適当と思う <理由>

- 教採・卒論等で忙しいから……………(20)
- 春は活動しやすく、季節的によい……………(8)
- 実習校側の行事が少なくてよいから……………(6)
- 3年生の学部での勉強に役立つから……………(6)
- 実習校側の児童の様子から……………(5)
- その他……………(11)

b 適当とは思わない <理由>

- 採用試験の時期がせまっているため……………(27)
- 児童がまだ学校生活に慣れていないから……………(10)
- 教職科目をまだ学習していないから……………(5)
- その他……………(5)

- c わからない <理由>
- 春は学級がまとまっていないし、秋ではまとまった学級を乱すことになるから……(17)
 - 4年次は教採及び卒論で忙しいから……(8)
 - 大学での授業との兼合いがうまくいかないから……(6)
 - 実習はいつ行っても同じだから……(6)
 - その他……(3)

質問5 実習の期間について答えて下さい。

			全 体	小 学 校	中 学 校	特別教科	無効
新	(1) 2年次の教育実習は2週間ですが、どう思いますか。	a 適当である	99 (83.2%)	75 (89.3%)	23 (67.7%)		1
		b 長すぎる	4 (3.4%)	3 (3.6%)	1 (2.9%)		
		c 短かすぎる	9 (7.6%)	5 (6.0%)	4 (11.8%)		
		d わからない	5 (4.2%)	0 (0%)	5 (14.7%)		
		無 解 答	2 (1.8%)	1 (1.1%)	1 (2.9%)		
		計	119 (100.0%)	84 (100.0%)	34 (100.0%)		1
潟	(2) 3年次の教育実習は2.5週ですが、どう思いますか。	a 適当である	85 (71.5%)	65 (77.4%)	20 (58.9%)		
		b 長すぎる	5 (4.2%)	2 (2.4%)	3 (8.8%)		
		c 短かすぎる	25 (21.0%)	15 (17.9%)	9 (26.5%)		1
		d わからない	1 (0.8%)	0 (0%)	1 (2.9%)		
		無 解 答	3 (2.5%)	2 (2.4%)	1 (2.9%)		
		計	119 (100.0%)	84 (100.0%)	34 (100.0%)		1
岡	(3) 4年次の教育実習は2.5週ですが、どう思いますか。	a 適当である	78 (65.6%)	60 (71.4%)	17 (50.1%)		1
		b 長すぎる	5 (4.2%)	3 (3.6%)	2 (5.9%)		
		c 短かすぎる	32 (26.9%)	19 (22.6%)	13 (38.2%)		
		d わからない	1 (0.8%)	0 (0.3%)	1 (2.9%)		
		無 解 答	3 (2.5%)	2 (2.4%)	1 (2.9%)		
		計	119 (100.0%)	84 (100.0%)	34 (100.0%)		1

		全 体	小 学 校	中 学 校	特 別 教 科	無 効	
高	(1) 2年次の教育実習は2週間ですが、どう思いますか。	a 適当である	29 (74.4%)	8 (88.9%)	7 (63.6%)	14 (73.6%)	
		b 長すぎる	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	
		c 短かすぎる	7 (17.9%)	1 (11.1%)	2 (18.2%)	4 (21.1%)	
		d わからない	3 (7.7%)	0 (0%)	2 (18.2%)	1 (5.3%)	1
		無 解 答	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	
		計	39 (100.0%)	9 (100.0%)	11 (100.0%)	19 (100.0%)	
田	(2) 4年次の教育実習は4.5週ですが、どう思いますか。	a 適当である	35 (89.7%)	8 (88.9%)	9 (81.8%)	18 (94.7%)	
		b 長すぎる	3 (7.7%)	1 (11.1%)	1 (9.1%)	1 (5.3%)	
		c 短かすぎる	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	
		d わからない	1 (2.6%)	0 (0%)	1 (9.1%)	0 (0%)	
		無 解 答	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	
		計	39 (100.0%)	9 (100.0%)	11 (100.0%)	19 (100.0%)	

質問6 教育実習は何学年にわたったらいいか

3年次	3 (1.9%)
4年次	3 (1.9%)
2-3年次	14 (8.9%)
2-4年次	5 (3.2%)
3-4年次	25 (15.8%)
1・2・3年次	3 (1.9%)
1・3・4年次	1 (0.6%)
2・3・4年次	89 (56.3%)
1・2・3・4年次	9 (5.7%)
その他	6 (3.8%)
計	158 (100.0%)

質問7 主免の教育実習中に悩んだこと、困ったことは何ですか。

	全 体	小 学 校	中 学 校	特別教科	無効
a 指導上の力量不足	125 (79.1%)	76 (81.7%)	36 (80.0%)	13 (68.4%)	
b 心身上的不適応	38 (24.1%)	26 (28.0%)	9 (20.0%)	2 (10.5%)	1
c 実習校での人間関係	10 (6.3%)	6 (6.5%)	3 (6.7%)	1 (5.3%)	
d 生活上の問題	39 (24.7%)	23 (24.7%)	13 (28.9%)	3 (15.8%)	
e 教育の現実に対する疑問	33 (20.9%)	18 (19.4%)	7 (15.6%)	8 (42.1%)	
f そ の 他	7 (4.4%)	2 (2.2%)	4 (8.9%)	1 (5.3%)	
無 解 答	1 (0.6%)	1 (1.1%)	0 (0 %)	0 (0 %)	

質問 8

		◎ 特に力不足を感じたもの	○ やや力不足を感じたもの	計
1	指導案の書き方	15 (9.5 %)	49 (31.0 %)	64 (10.5 %)
2	教材研究	70 (44.3 %)	39 (24.7 %)	109 (69.0 %)
3	教材・教具の使い方	5 (3.2 %)	26 (16.5 %)	31 (19.6 %)
4	教育機器の使い方	6 (3.8 %)	22 (13.9 %)	28 (17.7 %)
5	学級経営	35 (22.2 %)	26 (16.5 %)	61 (38.6 %)
6	生活指導	27 (17.1 %)	37 (23.4 %)	64 (40.5 %)
7	板書の仕方	13 (8.2 %)	46 (29.1 %)	59 (37.3 %)
8	発問	65 (11.1 %)	33 (20.9 %)	98 (62.0 %)
9	説明の仕方・話し方・間のとり方	25 (15.8 %)	40 (25.3 %)	65 (41.1 %)
10	授業分析	16 (10.1 %)	30 (19.0 %)	46 (29.1 %)
11	教科の専門知識	24 (15.2 %)	36 (22.8 %)	60 (38.0 %)
12	教科の教え方について	18 (11.4 %)	33 (20.9 %)	51 (32.3 %)
13	教職専門の知識	8 (5.1 %)	18 (11.4 %)	26 (16.5 %)
14	教育理念	11 (7.0 %)	15 (9.5 %)	26 (16.5 %)
15	学習指導に関する心理学的知識	13 (8.2 %)	20 (12.7 %)	33 (20.9 %)
16	授業評価について	12 (7.6 %)	16 (10.1 %)	28 (17.7 %)
17	学習指導形態 (個別・集団・討議 etc)	3 (1.9 %)	27 (17.1 %)	30 (19.0 %)
18	音・美・体等の実技について	18 (11.4 %)	21 (13.3 %)	39 (24.7 %)
19	学級会の運営について	15 (9.5 %)	26 (16.5 %)	41 (25.9 %)
20	児童理解	16 (10.1 %)	23 (14.6 %)	39 (24.7 %)
21	子どもへの接し方	10 (6.3 %)	32 (20.3 %)	42 (26.6 %)
22	子どものほめ方、しかり方	16 (10.1 %)	40 (25.3 %)	56 (35.4 %)
23	子どもの反応のまとめ方	21 (13.3 %)	39 (24.7 %)	60 (38.0 %)
24	授業に集中させる方法	15 (9.5 %)	44 (27.8 %)	59 (37.3 %)
25	子どもとの遊び	1 (0.6 %)	9 (5.7 %)	10 (6.3 %)
26	児童集団の扱い方	10 (6.3 %)	15 (9.5 %)	25 (15.8 %)
27	実習への心構え	2 (1.3 %)	9 (5.7 %)	11 (7.0 %)
28	他人の授業の見方	3 (1.9 %)	19 (12.0 %)	22 (13.9 %)
29	記録のとり方	2 (1.3 %)	13 (8.2 %)	15 (9.5 %)
30	授業でのことば使い	3 (1.9 %)	30 (19.0 %)	33 (20.9 %)
31	子どもの発言を理解すること	8 (5.1 %)	30 (19.0 %)	38 (24.1 %)
32	教師の表情や身ぶりなどの表現	10 (6.3 %)	12 (7.6 %)	22 (13.9 %)
33	教師としての職業の理解	4 (2.5 %)	13 (8.2 %)	17 (10.8 %)
34	指名のしかた	1 (0.6 %)	12 (7.6 %)	13 (8.2 %)
35	自分の体力	2 (1.3 %)	5 (3.2 %)	7 (4.4 %)

教育実習に関する調査 (質問紙見本)

新潟大学教育学部教育実践研究指導センター

これは、主免の教育実習を終了したあなたに、実習・教職に関する意見を求め、実習のあり方について、今後の充実、改善のための基礎資料作成を目的として行うものです。ご協力をお願いします。

次の性別、課程別のそれぞれについて、いずれかに○をつけてください。

性別	男・女
----	-----

課程別	幼稚園・小学校・中学校・養護学校・特別教科
-----	-----------------------

質問1 あなたは、教師になるために教育実習が必要だと思いますか。a・b・cのいずれかに○をつけ、それぞれの理由も書いてください。

a. 必要である。

理由

b. 必要ない。

理由

c. わからない。

理由

質問2 あなたは、3年次教育実習をする前に教育実習を履修することに不安を感じましたか。

a を選んだ人のみ、その理由を右の欄に書いてください。

a. おおいに感じた。

理由

b. 少し感じた。

c. あまり感じなかった。

d. まったく感じなかった。

e. わからない。

質問3 あなたは、教育実習を終了したことによって、教職意識が強まりましたか。

a, b を選んだ人は、その理由を右の欄に書いてください。

a. おおいに強まった。

理由

b. やや強まった。

c. かわらない。

d. やや弱まった。

e. 非常に弱まった。

質問4 現在、教育学部では主免の実習を春に行っていますが、あなたはこの時期を適当だと思いますか。

a・b・cのいずれかを選び、その理由も書いてください。

a. 適当と思う。

理由

b. 適当と思わない。

理由

c. わからない。

理由

質問5 実習の期間についてこたえてください。

(新潟・長岡地区の人のみ記入)

(高田地区の人のみ記入)

(1) 2年次の教育実習は2週間ですが、どう思いますか。

(1) 2年次の教育実習は2週間ですが、どう思いますか。

- a. 適当である。
- b. 長すぎる。
- c. 短かすぎる。
- d. わからない。

※ b・cについては、適当と思う期間を書いてください。

週間

- a. 適当である。
- b. 長すぎる。
- c. 短かすぎる。
- d. わからない。

※ b・cについては、適当と思う期間を書いてください。

週間

(2) 3年次の教育実習は2.5週間ですが、どう思いますか。

- a. 適当である。
- b. 長すぎる。
- c. 短かすぎる。
- d. わからない。

※ b・cについては、適当と思う期間を書いてください。

週間

(2) 4年次の教育実習は4.5週間ですが、どう思いますか。

- a. 適当である。
- b. 長すぎる。
- c. 短かすぎる。
- d. わからない。

※ b・cについては、適当と思う期間を書いてください。

週間

(3) 4年次の教育実習は2.5週間ですが、どう思いますか。

- a. 適当である。
- b. 長すぎる。
- c. 短かすぎる。
- d. わからない。

※ b・cについては、適当と思う期間を書いてください。

週間

質問6 現在、教育実習は2, 3, 4年次に分けて実施していますが、これについてどう思いますか。何学年にわたったらよいか、その場合、実施したらよいと思う年次に○をつけてください。

	1年次	2年次	3年次	4年次
1学年に集中して実施する。				
2学年にわたって実施する。				
3学年にわたって実施する。				
4学年にわたって実施する。				

質問7 主免の教育実習中に、あなたが特に悩んだこと、困ったことは何ですか。次のa～fの6項目の中から選んでください。

fを選んだ人は()内にその内容を書いてください。

- a. 指導上の力量不足
- b. 心身の不適応 (疲労, 睡眠不足, 精神的不安など)
- c. 実習校での人間関係 (先生方とのつきあい, 指導教官との対立)
- d. 生活上の問題 (通勤, 早起き, 弁当づくり, 多忙, アルバイト, 経済的負担など)
- e. 教育の現実に対する疑問
- f. その他 ()

質問8 (1) 主免の教育実習中にあなたは、どんなことで力不足を感じましたか。次の表の中の項目のうち、特に力不足を感じたものに◎、やや力不足を感じたものに○を左の欄に記入してください。

(2) また、印をつけた人は、それらの力が大学の授業、教育実習期間中、または教職についてからのいずれにおいて、主にどのようなことで身につけることができると思いますか。表の右の項目の中から選んで○を記入してください。

(例えば、「指導案の書き方」に力不足を感じ、それが「大学の授業」の「教科教育法」で身につくと思えば、そのところに○を記入するといったぐあいです。)

(3) 次に、1～35の事項の中で、本来は大学の授業で身につけるべきだと考えるものがありますか。ありましたら●をつけてください。○と重なるときは、例えば、○●のようにしてください。

力不足を感じたもの 事項	どのようにして 身につけるか		大学の授業					教育実習					教職についてから		
	教科に関する専門知識	教科教育法・教材研究	教育原理	教育心理	道徳教育の研究	視聴覚教育	その他	担任の授業を観る	指導案検討会	授業を担当する	授業反省会	大学の指導・教官の指導		実習校の指導・教官の指導	子どもとの接触
1	指導案の書き方														
2	教材研究														
3	教材・教具の使い方														
4	教育機器の使い方														
5	学級経営														
6	生活指導														
7	板書の仕方														
8	発問														
9	説明の仕方・話し方・問のとり方														
10	授業分析														
11	教科の専門知識														
12	教科の教え方について														
13	教職専門知識														
14	教育理念														
15	学習指導に関する心理学的知識														
16	授業評価について														
17	学習指導形態（個別・集団・討議 e t c）														
18	音・美・体等の実技について														
19	学級会の運営について														
20	児童理解														
21	子どもへの接し方														
22	子どものほめ方・しかり方														
23	子どもの反応のまとめ方														
24	授業に集中させる方法														
25	子どもとの遊び														
26	児童集団の扱い方														
27	実習への心構え														
28	他人の授業の見方														
29	記録のとり方														
30	授業でのことば使い														
31	子どもの発言を理解すること														
32	教師の表情や身ぶりなどの表現														
33	教師としての職業の理解														
34	指名のしかた														
35	自分の体力														
	その他…具体的に記入														
	{ }														

質問8

導・ 言	n 子どもとの接触	o そ の 他	p 教職についてから
い)	1 (0.6%)	0 (0%)	7 (4.4%)
い)	5 (3.7%)	1 (0.6%)	14 (8.9%)
い)	1 (1.3%)	0 (0%)	2 (1.3%)
い)	1 (1.3%)	0 (0%)	5 (3.2%)
い)	14 (8.7%)	0 (0%)	20 (12.7%)
い)	24 (15.7%)	0 (0%)	18 (11.4%)
い)	3 (1.9%)	1 (0.6%)	9 (5.7%)
い)	16 (10.1%)	0 (0%)	9 (5.7%)
い)	7 (4.4%)	0 (0%)	13 (8.2%)
い)	0 (0%)	0 (0%)	5 (3.2%)
い)	0 (0%)	2 (1.3%)	3 (1.9%)
い)	5 (3.2%)	0 (0%)	11 (7.0%)
い)	0 (0%)	0 (0%)	4 (2.5%)
い)	1 (0.6%)	0 (0%)	6 (3.8%)
い)	7 (4.4%)	0 (0%)	3 (1.9%)
い)	2 (1.3%)	0 (0%)	4 (2.5%)
い)	2 (1.3%)	0 (0%)	4 (2.5%)
い)	0 (0%)	4 (2.5%)	2 (1.3%)
い)	10 (6.3%)	0 (0%)	12 (7.6%)
い)	31 (19.6%)	1 (0.6%)	14 (8.9%)
い)	36 (22.8%)	1 (0.6%)	9 (5.7%)
い)	33 (20.7%)	0 (0%)	12 (7.6%)
い)	19 (12.0%)	0 (0%)	13 (8.2%)
い)	12 (7.6%)	1 (0.6%)	8 (5.1%)
い)	10 (6.3%)	1 (0.6%)	3 (1.9%)
い)	11 (7.0%)	1 (0.6%)	8 (5.1%)
い)	1 (0.6%)	0 (0%)	1 (0.6%)
い)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)
い)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.6%)
い)	4 (2.5%)	2 (1.3%)	6 (3.8%)
い)	20 (12.7%)	2 (1.3%)	11 (7.0%)
い)	4 (2.5%)	1 (0.6%)	4 (2.5%)
い)	1 (0.6%)	2 (1.3%)	4 (2.5%)
い)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	3 (1.9%)
い)	2 (1.3%)	2 (1.3%)	0 (0%)

		a 教科に関する専門の知識	b 教科教育法 教材研究	c 教育原理	d 教育心理	e 道徳教育の研究	f 視聴覚教育	g その他	h 担任の授業を見る	i 指導案検討会	j 授業を担当する	k 授業反省会	l 大学の指導・ 教官の指導	m 実習校の指導・ 教官の指導	n 子どもとの接触	o その他	p 教職についてから
1	指導案の書き方	4 (2.5%)	28 (17.7%)	1 (0.6%)	0 (0%)	1 (0.6%)	2 (1.3%)	0 (0%)	3 (1.7%)	45 (28.5%)	10 (6.3%)	13 (8.2%)	5 (3.2%)	31 (19.6%)	1 (0.6%)	0 (0%)	7 (4.4%)
2	教材研究	21 (17.1%)	74 (46.8%)	1 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	18 (11.4%)	13 (8.2%)	27 (17.1%)	23 (14.6%)	9 (5.7%)	35 (22.2%)	5 (3.7%)	1 (0.6%)	14 (8.9%)
3	教材・教具の使い方	3 (1.9%)	12 (7.6%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	11 (7.0%)	1 (0.6%)	13 (8.2%)	0 (0%)	5 (3.2%)	6 (3.8%)	3 (1.9%)	13 (8.2%)	1 (1.3%)	0 (0%)	2 (1.3%)
4	教育機器の使い方	0 (0%)	2 (1.3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	20 (12.7%)	0 (0%)	7 (4.4%)	0 (0%)	2 (1.3%)	2 (1.3%)	2 (1.3%)	11 (7.0%)	1 (1.3%)	0 (0%)	5 (3.2%)
5	学級経営	0 (0%)	0 (0%)	14 (8.9%)	6 (3.8%)	2 (1.3%)	0 (0%)	2 (1.3%)	14 (5.9%)	0 (0%)	4 (2.5%)	4 (2.5%)	1 (0.5%)	28 (17.7%)	14 (8.7%)	0 (0%)	20 (12.7%)
6	生活指導	0 (0%)	1 (0.6%)	12 (7.6%)	13 (8.2%)	8 (5.1%)	0 (0%)	3 (1.9%)	11 (7.0%)	1 (0.6%)	3 (1.9%)	2 (1.3%)	1 (0.6%)	31 (19.6%)	24 (15.7%)	0 (0%)	18 (11.4%)
7	板書の仕方	1 (0.6%)	7 (4.4%)	0 (0%)	1 (0.6%)	0 (0%)	2 (1.3%)	2 (1.3%)	32 (20.3%)	4 (2.5%)	19 (12.0%)	19 (12.0%)	0 (0%)	28 (17.7%)	3 (1.9%)	1 (0.6%)	9 (5.7%)
8	発問	6 (3.8%)	20 (12.7%)	2 (1.3%)	4 (2.5%)	0 (0%)	1 (0.6%)	0 (0%)	48 (30.4%)	10 (6.3%)	33 (20.7%)	38 (24.1%)	2 (1.3%)	33 (20.7%)	16 (10.1%)	0 (0%)	9 (5.7%)
9	説明の仕方・話し方・間のとり方	1 (0.6%)	7 (4.4%)	1 (0.6%)	2 (1.3%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1.3%)	35 (22.2%)	2 (1.3%)	30 (19.0%)	26 (16.5%)	1 (0.6%)	25 (15.8%)	7 (4.4%)	0 (0%)	13 (8.2%)
10	授業分析	1 (0.6%)	18 (11.4%)	5 (3.2%)	1 (0.6%)	0 (0%)	2 (1.3%)	4 (2.5%)	6 (3.8%)	11 (7.0%)	4 (2.5%)	25 (15.8%)	6 (3.8%)	16 (10.1%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (3.2%)
11	教科の専門知識	49 (31.0%)	10 (6.3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.6%)	8 (1.9%)	0 (0%)	1 (0.6%)	3 (1.9%)	0 (0%)	4 (2.5%)	2 (1.3%)	0 (0%)	2 (1.3%)	3 (1.9%)
12	教科の教え方について	8 (5.1%)	32 (20.3%)	5 (3.2%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	0 (0%)	19 (12.0%)	12 (7.6%)	15 (9.5%)	12 (7.6%)	10 (6.3%)	22 (13.9%)	5 (3.2%)	0 (0%)	11 (7.0%)
13	教職専門の知識	6 (3.8%)	5 (3.2%)	17 (10.8%)	10 (6.3%)	7 (4.4%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (1.9%)	2 (1.3%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (2.5%)
14	教育理念	0 (0%)	2 (1.3%)	23 (14.6%)	4 (2.5%)	5 (3.2%)	0 (0%)	3 (1.9%)	1 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (1.9%)	1 (0.6%)	0 (0%)	6 (3.8%)
15	学習指導に関する心理学的知識	0 (0%)	1 (0.6%)	11 (2.5%)	30 (19.0%)	1 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1.3%)	0 (0%)	3 (1.9%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	8 (5.1%)	7 (4.4%)	0 (0%)	3 (1.9%)
16	授業評価について	1 (0.6%)	10 (6.3%)	3 (1.9%)	2 (1.3%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	6 (3.8%)	2 (1.3%)	16 (10.1%)	4 (2.5%)	11 (7.0%)	2 (1.3%)	0 (0%)	4 (2.5%)
17	学習指導形態(個別・集団・討議 etc)	2 (1.3%)	8 (5.1%)	12 (7.6%)	3 (1.9%)	1 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	9 (5.7%)	1 (0.6%)	4 (2.5%)	8 (5.1%)	3 (1.9%)	13 (8.2%)	2 (1.3%)	0 (0%)	4 (2.5%)
18	音・美・体等の実技について	14 (8.9%)	16 (10.1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	11 (7.0%)	7 (4.4%)	0 (0%)	9 (5.7%)	2 (1.3%)	5 (3.2%)	2 (1.3%)	0 (0%)	4 (2.5%)	2 (1.3%)
19	学級会の運営について	0 (0%)	2 (1.3%)	4 (2.5%)	4 (2.5%)	2 (1.3%)	0 (0%)	3 (1.9%)	16 (10.1%)	0 (0%)	6 (3.8%)	7 (4.4%)	0 (0%)	19 (12.0%)	10 (6.3%)	0 (0%)	12 (7.6%)
20	児童理解	0 (0%)	2 (1.3%)	7 (4.4%)	17 (10.8%)	3 (1.9%)	0 (0%)	2 (1.3%)	5 (3.2%)	0 (0%)	4 (2.5%)	2 (1.3%)	1 (0.6%)	17 (10.8%)	31 (19.6%)	1 (0.6%)	14 (8.9%)
21	子どもへの接し方	0 (0%)	0 (0%)	2 (1.3%)	10 (6.3%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	7 (4.4%)	0 (0%)	4 (2.5%)	3 (1.9%)	0 (0%)	13 (8.2%)	36 (22.8%)	1 (0.6%)	9 (5.7%)
22	子どものほめ方、しかり方	0 (0%)	1 (0.6%)	2 (1.3%)	16 (10.1%)	2 (1.3%)	0 (0%)	1 (0.6%)	21 (13.3%)	1 (0.6%)	10 (6.3%)	4 (2.5%)	0 (0%)	25 (15.8%)	33 (20.7%)	0 (0%)	12 (7.6%)
23	子どもの反応のまとめ方	1 (0.6%)	4 (2.5%)	5 (3.2%)	10 (6.3%)	1 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	26 (16.5%)	3 (1.9%)	22 (13.9%)	15 (9.5%)	2 (1.3%)	25 (15.8%)	19 (12.0%)	0 (0%)	13 (8.2%)
24	授業に集中させる方法	1 (0.6%)	5 (3.2%)	4 (2.5%)	6 (3.8%)	1 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	28 (17.7%)	3 (1.9%)	22 (13.9%)	17 (10.8%)	2 (1.3%)	19 (12.0%)	12 (7.6%)	1 (0.6%)	8 (5.1%)
25	子どもとの遊び	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.6%)	10 (6.3%)	1 (0.6%)	3 (1.9%)
26	児童集団の扱い方	0 (0%)	1 (0.6%)	4 (2.5%)	6 (3.8%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (3.8%)	0 (0%)	2 (1.3%)	2 (1.3%)	0 (0%)	14 (8.7%)	11 (7.0%)	1 (0.6%)	8 (5.1%)
27	実習への心構え	0 (0%)	2 (1.3%)	1 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (2.5%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.6%)	2 (1.3%)	1 (0.6%)	0 (0%)	1 (0.6%)
28	他人の授業の見方	1 (0.6%)	6 (3.2%)	2 (1.3%)	1 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.6%)	4 (2.5%)	3 (1.7%)	2 (1.3%)	11 (7.0%)	2 (1.3%)	6 (3.8%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)
29	記録のとり方	0 (0%)	2 (1.3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.6%)	2 (1.3%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (3.2%)	1 (0.6%)	8 (5.1%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.6%)
30	授業でのことば使い方	0 (0%)	1 (0.6%)	2 (1.3%)	1 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.6%)	12 (7.6%)	1 (0.6%)	11 (7.0%)	16 (10.1%)	1 (0.6%)	12 (7.6%)	4 (2.5%)	2 (1.3%)	6 (3.8%)
31	子どもの発言を理解すること	1 (0.6%)	7 (4.4%)	2 (1.3%)	9 (5.7%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	13 (8.2%)	2 (1.3%)	14 (8.7%)	12 (7.6%)	2 (1.3%)	12 (7.6%)	20 (12.7%)	2 (1.3%)	11 (7.0%)
32	教師の表情や身ぶりなどの表現	0 (0%)	2 (1.3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.6%)	16 (10.1%)	0 (0%)	7 (4.4%)	3 (1.9%)	0 (0%)	5 (3.2%)	4 (2.5%)	1 (0.6%)	4 (2.5%)
33	教師としての職業の理解	0 (0%)	2 (1.3%)	6 (3.8%)	3 (1.9%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1.3%)	1 (0.6%)	0 (0%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	2 (1.3%)	5 (3.2%)	1 (0.6%)	2 (1.3%)	4 (2.5%)
34	指名のしかた	0 (0%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	7 (4.4%)	0 (0%)	9 (5.7%)	3 (1.9%)	1 (0.6%)	6 (3.8%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	3 (1.9%)
35	自分の体力	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (3.8%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1.3%)	2 (1.3%)	0 (0%)

質問11 質問10で c、d に該当する人は、附属校だけ、協力校だけ、附属校と協力校のいずれの実習が望ましいと考えますか。

a 附属校 <理由>

- 協力校では実のない実習であった……………(1)
- 実習生に対する指導体制が整っている……………(1)

b 協力校 <理由>

- 附属校は特殊であるから……………(2)
- 教生にとってやりやすく、安易に指導してしまいがちである……………(2)
- 実際には、協力校に似た雰囲気の中で働くことになるから……………(2)
- その他……………(1)

c 附属校と協力校 <理由>

- 附属校、協力校のどちらにも特長があるので、両方の学校を経験した方がよい……………(20)
- 附属校では先生方の指導、助言が受けられ、協力校では現場の実態を知ることができる……………(11)
- 附属校と協力校の児童の異なる実態を知ることができる……………(7)
- 附属校は特殊であるから……………(2)
- 附属校で協力体制がととのっているが、現実の現場ではそうはいかない……………(2)
- 附属校の指導はゆきとどいていて、自分のためになったと思う……………(2)
- その他……………(6)

d わからない <理由>

- どちらでもかまわない……………(3)

質問12 教育実習全体を通じて、あなたが大学に希望することを書いてください。

① 大学の講義に対する要望

- a) 教材研究及び教科教育法の講義をより深いものにしてほしい……………(15)
- b) 現場に即した講義をしてほしい……………(14)
- c) 実践に役立つ講義にしてほしい……………(10)
- d) 事前指導をもっとしっかりやってもらいたい……………(7)
- e) 実践に基づいた講義にしてほしい……………(4)
- f) 現場の教師による講義をもっとふやしてほしい……………(3)
- g) 実習期間中は、大学の講義を休講してほしい……………(2)
- h) その他……………(4)

② 教育実習の期間及び時期について

- a) 実習期間を延長してほしい……………(12)
- b) 4年次における実習期間を採用試験を考慮して適切な時期にしてほしい……………(6)

(c) その他	(10)
③ 実習校をもっと通いやすい所にしてほしい	(13)
④ ークラスの配当人数を少なくしてほしい	(12)
⑤ 実習校における多様な要望	(12)
⑥ 大学教官に対する要望	(11)
⑦ 実習校との連絡を緊密にしてほしい	(9)
⑧ 実習後の反省会、討論会、発表会などを行ってほしい	(8)
⑨ 附属校と協力校のどちらでも実習できるようにしてほしい	(7)
⑩ 交通費の支給	(5)
⑪ 学校設備の使用にあたって、便宜を図ってもらいたい	(4)
⑫ 研究授業をふやしてほしい	(3)
⑬ 出身校での実習ができるようにしてほしい	(3)
⑭ その他	(15)

IV 考 察

調査の方法は、前記目的の(2)に合致する資料を得るべく、偏りのない資料を得るというよりは、なるべく多様な回答を得るように努力した。したがって、結果の数値をそのまま本学部学生の意識を反映するものとして捉えることには問題があると思われるが、センターからの要請があったので一応その数値について言及する。

教育実習の意義の認識等

「問1、教師になるために教育実習は必要だと思いますか」にたいしては98%（154人）が必要であると答えており、回答者は大学行事に協力的であり大学に適応している学生が多いこと、また現在実習をどの大学でも教職の必修単位として課している条件下での回答であることなどを割引いて考えても、実習の必要性は肯定的に認識されているとみなすことができる。また実習の期間に関する質問で、現行の実習期間について適当とするものが多数を占めてはいるものの3年次、4年次各2.5週の期間についてはこれを実施している新潟、長岡では短かすぎるとするものが20%以上(中学校では4年次の実習を短かすぎるとするものは38.2%)あることも、これを裏付けるものといえよう。

その実習を何故に必要と考えるかという、必要の理由についての自由回答は、表1に示した通りで、大学が意図しているものと学生の認識とはさほどかけはなれていないように思われる。

「教育実習を終了したことによって、教職意識が強まりましたか」という問いにたいしては、「おおいに強まった」というものが45%（70人）「やや強まった」というものが32%（51人）あり、強まったとするものは5%（8人）である。このように強まったとする学生が多いものの、わからない学生も含めて、実習以前の意識がどのような水準であったか、また教職意識という言葉をどのような意味に解しているかなども明らかにすることが必要と思われる。

教育実習の期間について

新潟大学教育学部では、現在、教育実習を2年次で2週間、3年次・4年次で各2.5週間課している。各学年の実習期間の適・不適に関する問いにたいする回答では、2年次の2週間の実習期間について「適当である」とするものが83.1%（99人）、「短かすぎる」というものが8%（9人）「長すぎる」というものは2.7%（4人）であった。

3・4年次の各2.5週という実習期間については、「適当である」とするものが、3年次69.9% (85人)、4年次64.6% (78人) であって、これは2年次よりいずれも低い。これにたいして、「短かすぎる」というものは、3年次22.1% (25人)、4年次27.4% (32人) で、2年次より高率となっている。

これをみると2年次の2週間の実習期間を大多数のものが適当とみなしているのにたいして、3・4年次の2.5週間については、さらに延長を望む声もあることがうかがわれる。

また、実習を何学年にわたっておこなうのがよいかという質問にたいしては、現行通りの2・3・4年次というものが69.5% (89人) あったが、3・4年次とするもの、2・3年次とするものなども各19.5% (25人) 10.9% (14人) あった。これについては、理由を問うて対処することが望まれる。

教育実習の時期について

「現在、教育学部では主免の実習を春におこなっていますが、あなたはこの時期を適当だと思いますか」という問いにたいしては、「適当と思う」もの39% (62人)、「適当と思わない」もの30% (47人)、「わからない」もの30% (47人) である。

教育実習の時期について問題を感じているもののもっとも多くの理由は、教員採用試験の日程との関係である。

教育実習に関する不安や悩みについて

「3年次教育実習をする前に教育実習を履習することに不安を感じましたか」という問いにたいしては、感じたというものが69% (109人) ある。

誰しもはじめての経験にあたって、不安を感じるのが常であるとはいえ、2年次の観察実習において、適切なガイダンスを試みることなどの対策が考えられれば、不安の減少に役立つかと思われる。

「主免の教育実習中に、特に悩んだこと、困ったことは何ですか」という問いに対して、もっとも多く選ばれたのは、「指導上の力量不足」であり、79% (125人) がこれをあげている。ほかに「生活上の問題」が25% (39人)、「心身の不適応」が24% (38人)、「教育の現実に対する疑問」が21% (33人) 選ばれている。

「あなたはどんなことで力不足を感じましたか」という問いに対して、35項目の選択○のうち、もっとも多く選ばれたのは、「教材研究」の69% (109人) であり、これについて「発問」の62% (98人)、「説明の仕方・話し方・間のとり方」の41% (65人)、「指導案の書き方」41% (64人)「生活指導」41% (64人) などがあげられている。

なお、これらをどのようなことで身につけることができるかという点に関しては、

「教材研究」については、「教科教育法・教材研究」をあげたものが47% (74人) でもっとも多いが、「実習校の指導」をあげたものも22% (35人) ある。

「発問」については、「担任の授業を観る」30% (48人)、「授業反省会」24% (38人)、「授業を担当する」21% (33人)、「実習校の指導教官の指導」21% (33人) などがあげられている。

「説明の仕方・話し方・間のとり方」については、「担任の授業を観る」22% (35人)、「授業を担当する」19% (30人)、「授業反省会」17% (26人)、「実習校の指導教官の指導」16% (25人) などがあげられている。

「指導案の書き方」については、「指導案検討会」29% (45人)、「実習校の指導教官の指導」20% (31人)、「教科教育法」18% (28人) などがあげられている。

「生活指導」については、「実習校の指導教官の指導」20% (31人)、「子どもとの接触」15%

(24人)などがあげられている。

なお、実習生が実習にあたって実感する力量の不足については、今回は多くの項目を列挙したが、これについては項目の整理をする必要がある

以 上

本報告をまとめるにあたっては、教育実習調査研究専門委員諸氏からの示唆や助言を受けたことを附記し、謝意を表す。

なお、この調査項目の作成にあたっては、下記の文献を参考にした。

- 広島大学教育学部福山分校教育実習研究委員会、「学生から見た教育実習の現状と問題点」1978年1月
- 同上教育実習研究委員会「指導教官から見た教育実習の現状と問題点」1978年3月
- 同上教育実習研究委員会「教育臨床課程と教育実習体験の構造」1978年3月
- 愛知教育大学教育実習・事前指導改善研究会「教育実習・事前指導改善に関する研究」研究報告書第1号、1977年3月
- 同上研究報告書第2号、1978年3月
- 同上研究報告書第3号、1979年3月
- 岡山大学教育学部「教育実習の効率化に関する研究」第1集、昭和53年3月